

令和元年度

社会福祉法人野木町社会福祉協議会  
事業報告書

社会福祉法人野木町社会福祉協議会

## 令和元年度事業報告目次

1	総括概要	2
---	------	---

### 2 サービス区分報告

#### <社会福祉事業>

法人運営事業及び決算額	3
地域福祉活動事業及び決算額	6
共同募金配分金事業及び決算額	15
社会福祉基金事業及び決算額	18
資金貸付事業及び決算額	19
生活福祉資金貸付事業及び決算額	19
地域福祉ネットワーク事業及び決算額	20
外出支援サービス事業及び決算額	21
配食サービス事業及び決算額	21
居宅介護支援事業及び決算額	22
居宅介護等事業及び決算額	22
障害福祉サービス事業及び決算額	23
指定管理事業及び決算額	23

#### <公益事業>

地域包括支援センター事業及び決算額	25
デマンド交通運営事業及び決算額	27

#### <その他>

日本赤十字社活動と共同募金活動	27
その他の支援活動	28

## 令和元年度 事業報告

### 【総括概要】

改正社会福祉法の施行にともない、住民が身近な圏域で主体的に地域課題を把握し、解決を試みる体制づくりが明記された「地域共生社会」の実現に向け、多機関協働による総合的な相談支援体制の整備が進められる中、本会においても「町総合サポートセンター」と連携し、地域包括支援センター、障がい者相談支援事業所、生活困窮自立支援相談員、その他の専門機関等とネットワークを構築し、積極的に地域ケア会議等に参加するなど複合的な課題解決に向け取り組んでまいりました。

平成28年度に町と相互に地域福祉の推進を図るため一体的に策定した『野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』については、町、町社会福祉協議会及び町民の協働により計画を推進するため、推進委員会を開催しました。引き続き、それぞれの事業の進捗状況の把握、計画の評価、見直し等における様々な意見をもとに次期計画策定に向けて進めてまいります。

また、住民参加型在宅福祉サービス事業「ふれあいサービス」においては、暮らしの中で困りごとのある人（利用会員）とお手伝いができる人（協力会員）が会員となる町民の参加と協力による相互扶助活動で、公的サービスでは補えないニーズについてサービスの拡充を図りつつ、随時事業サービス内容の見直しを検討しながら今後もお互いさまの気持ちで支え合う地域づくりを目指してまいります。

権利擁護事業については、高齢や障がいにより物事を判断する能力が不十分な方に日常生活自立支援事業（あすてらす）において福祉サービスの適切な利用援助等に支援するとともに認知症や障がい等によって物事判断する能力が十分でない方に対し本会が法人として後見業務を受け、権利を擁護できるよう法人後見事業の施行実施に向け、後見支援員養成研修へ職員の参加等令和2年度実施を目指し体制を整えました。

自然災害が多発する中、10月の台風19号被害においては、近隣の市町において被災された方々に対し、県社会福祉協議会等関係機関と連携を図り、佐野市をはじめとする災害ボランティアセンターに職員を派遣し、災害ボランティアセンター運営支援活動を展開しました。今後もこの経験を踏まえ当町における災害ボランティアセンターの運営体制づくりの環境を整えていきます。

令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響をうけ、年度末の各事業の実施が縮小、中止を余儀なくされました。今回の状況を踏まえ、社会福祉協議会として事業を継続させるため、各係において事業継続優先区分の検討を行いました。

今後も、誰もが安心して住みなれた地域で暮らしていける地域共生社会を目指し、公的サービスのみならず、インフォーマルサービスの充実をすすめるとともに行政や各関係機関、団体等と連携・協働し各種活動を行なってまいります。

## ■法人運営事業及び決算額

【38,386 千円[62,426 千円]】

## 1 事業の概要

社会福祉法人野木町社会福祉協議会の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための組織として、各係（担当部署）の連絡・調整を図り、適正な法人運営を推進した。

また、社会福祉法改正により、経営組織のガバナンスの強化、事業透明性の向上、財務規律の強化と財政の健全化に努めた。

## 2 主要な施策

## (1) 理事会・評議員会・監査会

理事会・評議員会・監査会の開催により、法人の適正な運営と効果的な事業の実施をすすめた。また、理事会・評議員会を通じて関係機関との連絡調整を図り、社会福祉協議会が地域福祉を推進する団体として継続的かつ安定的に地域福祉を展開していくための法人組織基盤の強化を図った。

## ①理事会の開催（業務執行の決定）

第 1 回理事会（令和元年 5 月 29 日開催）		出席者：理事 8 名、監事 2 名
報告	第 1 号	野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
議案	第 1 号	平成 30 年度野木町社会福祉協議会決算（事業報告等、計算関係書類、財産目録）について
	第 2 号	野木町社会福祉協議会居宅介護等事業（訪問介護事業）の廃止について
	第 3 号	野木町社会福祉協議会役員（理事及び監事）の選任について
	第 4 号	令和元年度野木町社会福祉協議会定時評議員会の開催について
	第 5 号	野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
第 2 回理事会（令和元年 6 月 14 日開催）		出席者：理事 10 名、監事 2 名
議案	第 1 号	野木町社会福祉協議会長・副会長の選定について
	第 2 号	野木町社会福祉協議会評議員の候補者の推薦について
	第 3 号	野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
	第 4 号	野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について
第 3 回理事会（令和元年 10 月 31 日開催）		出席者：理事 8 名、監事 2 名
議案	第 1 号	野木町社会福祉協議会長表彰並びに感謝状贈呈者の選考について
	第 2 号	野木町社会福祉協議会評議員の候補者の推薦について
	第 3 号	野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について
報告	第 1 号	野木町社会福祉協議会長の職務の執行状況の報告について
	第 2 号	ふくしのつどいのぎ 2019 の開催について

第4回理事会（令和2年1月28日開催）		出席者：理事7名、監事1名
報告	第1号	野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
議案	第1号	令和元年度野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	法人後見事業の実施について
	第3号	野木町社会福祉協議会役員（理事及び監事）の一部選任について
	第4号	令和元年度第2回野木町社会福祉協議会評議員会の開催について
	第5号	野木町社会福祉協議会長表彰並びに感謝状贈呈者の選考について

第5回理事会（令和2年3月19日開催）		出席者：理事7名、監事2名
報告	第1号	野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
	第2号	野木町社会福祉協議会長の職務の執行状況の報告について
議案	第1号	野木町社会福祉協議会定款の一部変更について
	第2号	令和2年度野木町社会福祉協議会事業計画について
	第3号	令和2年度野木町社会福祉協議会会計収支予算について
	第4号	野木町社会福祉協議会における苦情解決の第三者委員の選任について
	第5号	令和元年度第3回野木町社会福祉協議会評議員会の開催について

## ②評議員会の開催（予算及び事業計画の承認、計算書類及び事業報告の承認他）

定時評議員会（令和元年6月14日開催）		出席者：評議員17名、監事1名
議案	第1号	平成30年度野木町社会福祉協議会決算（事業報告等、計算関係書類、財産目録）について
	第2号	野木町社会福祉協議会役員（理事及び監事）の選任について
報告	第1号	野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
	第2号	野木町社会福祉協議会居宅介護等事業（訪問介護事業）の廃止について

第2回評議員会（令和元年1月28日開催）		出席者：評議員19名
報告	第1号	野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
	第2回	法人後見事業の実施について
議案	第1号	令和元年度野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	野木町社会福祉協議会役員（理事及び監事）の一部選任について

第3回評議員会（書面決議開催）		同意した全評議員23名
議案	第1号	野木町社会福祉協議会定款の一部変更について
	第2号	令和2年度野木町社会福祉協議会事業計画について
	第3号	令和2年度野木町社会福祉協議会会計収支予算について

## ③監査会の開催（事業報告、業務及び財産の状況に係る監査）

監査会（令和元年5月20日開催）		出席者：監事2名
内容	平成30年度事業報告等、計算関係書類及び財産目録の監査	

#### ④評議員選任・解任委員会の開催（評議員の選任）

第1回評議員選任・解任委員会（令和元年6月14日開催）		出席者：委員3名
議事	野木町社会福祉協議会評議員の選任について	

第2回評議員選任・解任委員会（令和元年10月31日開催）		出席者：委員4名
議事	野木町社会福祉協議会評議員の選任について	

#### (2) 会員増強の強化（7月）

社会福祉協議会活動の趣旨などを周知するとともに会員加入促進を図った。

#### 町社会福祉協議会会員募集実績（募集月間7月）

会員内訳	会員数（世帯・事業所）			金額（円）		
	H29実績	H30実績	R1実績	H29実績	H30実績	R1実績
特別会員	41	27	31	46,000	31,000	34,000
普通会员	6,162	6,070	6,106	3,081,000	3,035,100	3,053,800
寄付	482	484	452	138,521	144,905	131,890
賛助会員	42	33	37	209,000	170,000	195,000
合計	6,727	6,614	6,626	3,474,521	3,381,005	3,414,690

#### (3) 福祉サービスの運営適正

野木町社会福祉協議会における苦情解決に関する規程に基づき、利用者からの苦情に適切に対応し、利用者が安心してサービスを利用できるよう、運営事業ごとに苦情解決担当者を配置するとともに、第三者委員を委嘱し、その権利を擁護した。

第三者委員構成	人権擁護委員1・民生委員児童委員1・保健師1
苦情受付数	0件

#### (4) 法人成年後見事業の施行実施に向けた調査・研修

野木町社会福祉協議会が法人後見人として後見業務を行う体制を確立するため、法人後見業務をサポートする支援員養成研修に参加した。また、申立に必要な書類の取得など申立の支援を行った。

開催日	内容		場所
9月2日	基礎研修	権利擁護概論と成年後見制度(1)(2)	宇都宮市
9月9日		社会福祉協議会概論と各論 知的障がいと精神障がいについて	
9月27日		高次脳機能障がいと発達障がいについて 障害者福祉の動向（障害者総合支援法、障害者差別解消法、障害者虐待防止法）について	
10月7日		社会保障総論と各論 地域包括支援センターの役割と生活困窮者自立支援について	

10月11日		認知症高齢者についてと老人福祉論について	
10月30日	実務研修	社会福祉援助技術論と、日常生活自立支援事業の実務について	
11月6日		後見業務の実務概論	
12月4日	報告会	レポート報告会及び修了証交付式	

## (5) 事務局活動

法人事務局として必要な人事・財務管理等を行った。

## (6) 事業運営の透明性の向上

社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムの公表を行った。

## (7) 財政基盤の強化

地域福祉推進の事業費となる社協会費、共同募金、寄付金の拡大、また、介護サービス事業等については、経営理念のもと効果的、効率的かつ適切で安定した事業運営に努めた。

## ■地域福祉活動事業及び決算額

【1,544千円[1,576千円]】

## 1 事業の概要

地域住民の福祉の向上や障がいへの理解を進めるとともにボランティア活動への関心を高め、ボランティア活動の育成・援助を行った。また、判断能力が不十分な高齢者や障がいの方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等の支援を行った。

## 2 主要な施策

### (1) 地域福祉計画・地域福祉活動計画事業の進捗管理

平成28年度策定した『野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』において、行政、社会福祉協議会及び町民との協働により計画を推進するため、松原区の見守りマップづくりや新橋区の高齢化対策検討会等に参加するとともに、野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催し、計画の進捗状況の把握と評価のため意見交換を行った。

開催日	内容	出席者数(名)
2月26日	野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況と今後の取組について意見交換	8

## (2) 災害時における支援活動・災害ボランティアセンター設置に係る整備

全町避難訓練にて、災害ボランティアセンター設置運営訓練を行い、町ボランティア支援センター「きらり館」より参加希望があった災害ボランティア登録者や、野木町赤十字奉仕団を各避難所に派遣し、避難所運営補助を行った。

開催日	内 容	出席者数(名)
10月6日	①災害ボランティア派遣 各避難所出入り口にて避難者の誘導及び清掃	5
	②野木町赤十字奉仕団を派遣 各避難所にて非常食等の配布	21

また、台風19号等災害における被災地域や被災者支援に対し、職員の派遣やボランティア活動を行った。今後は、野木町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルをもとに、より現実的な行動がとれるよう努める。

### ・要援護者等（介護利用者含）への対応

日時	内 容
10月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本会の介護サービス利用者宅への電話及び訪問にて安否確認</li> <li>・介護予防サービス利用者（要支援）のうち、避難指示区域在住者への安否及び避難状況を電話及び訪問にて確認</li> </ul>

### ・近隣市町への援助活動

(1) 栃木県・市町社会福祉協議会における災害時支援に関する協定により本会の職員を派遣 【内容】 被災地の災害ボランティアセンター運営支援 (被災地支援ボランティアコーディネート、要援護者の実態把握等)	
10月18日～11月10日	・佐野市災害ボランティアセンター（24日間 延べ45人）
10月19日～10月22日 11月16日、11月30日	・足利市災害ボランティアセンター（6日間 延べ8人）
(2) 被災地災害支援のボランティア活動	
10月17日（栃木市）	・会長
10月17日（小山市）	・本会職員3名
10月18日（佐野市）	・会長
10月19日（栃木市）	・会長
10月21日（足利市）	・会長
10月28日（佐野市）	・会長
11月14日（佐野市）	・会長・本会職員4名
11月26日（佐野市）	・本会職員2名
11月28日（栃木市）	・本会職員2名



### (3) 社会福祉等のボランティア活動支援

#### ①ボランティア関係機関との連携と活動基盤整備

町が設置するボランティア支援センター「きらり館」との連携を図るとともに、社会福祉関係等のボランティア活動がより円滑にかつ効果的に進行されるよう支援した。また、ボランティア活動を安心して行うことができるよう、個人や団体等の活動内容に沿った保険加入を促進し、加入の事務手続きを行った。今後も、安心してボランティア活動に参加・活動ができる環境整備と情報提供の推進に努める。

ボランティア保険種別	加入件数（件）			加入者数（名）		
	H29実績	H30実績	R1実績	H29実績	H30実績	R1実績
ボランティア活動保険	10	20	18	899	925	960
ボランティア行事用保険	22	21	19	8,936	1,193	1,019
福祉サービス総合補償	5	5	4	73	81	84
送迎サービス補償	3	2	1	8	9	8
合計	40	48	42	9,916	2,208	2,071

#### ※ボランティア活動中の事故報告

事故報告件数（件）	H29実績	H30実績	R1実績
		3	2

#### (整備機材一覧)

資機材名	資機材名	資機材名
ロッカー	録音機	高齢者擬似体験装着具
パソコン	録音（集積）マイク	アイマスク体験具
点字板	ダビング機	車いす
点字プリンター	スピーチオ（活字文書読上装置）	段差解消スロープ
MD/CD ラジカセ	デイジー（CD読み取り機）	プロジェクター・スクリーン

## ②社会福祉等ボランティア活動の推進と担い手の育成

社会福祉関係等のボランティア団体（サークル）・個人により構成された連絡協議会の事務局を担当し、各種活動の支援と助成を行った。

開催日	内 容	参加者数(名)
4月25日	全体会・全体研修会 ①全体会 ・平成30年度活動報告について（1年間のうごき） ・2019年度事業計画について ・新役員（会長・副会長）の承認と委員の紹介について ②全体研修会 『地域を支えるまちづくり～これからのボランティア活動について』 講師：さくら総合専門学校 山田 昇 氏	46
11月7日	委員視察研修会 ・国立きぬ川学院 他	15
12月14日	ふくしのつどいのぎ 2019	17
定例会の開催（第2木曜日／年7回開催） 各ボランティア団体の代表者及び個人ボランティアから構成（委員16名）され全体会・全体研修会、委員視察研修会等について意見交換を行った。		



### 社会福祉ボランティア連絡協議会の会員数（毎年・毎年度3月31日現在）

	H29実績	H30実績	R1実績	H29実績	H30実績	R1実績
団体数（団体）・（名）	14	14	11	149	148	173
個人ボランティア数（名）				67	69	69

(ボランティア団体)

No.	名 称	活動内容	会員数 (名)
1	手話サークル「虹の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校手話体験、講演等含）への参加協力	23
2	手話サークル「野和の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校体験含）への参加協力	9
3	朗読の会「のぎく」	町広報・社協情報誌、お知らせ版他を録音し、視覚障がい者に届ける活動、朗読の学習、福祉関係事業（小中学校体験支援含）への参加協力、施設での読み聞かせ活動	13
4	点友会「のぎ」	視覚障がい者との交流、点訳による情報提供活動、点訳学習、各種福祉関係事業（小中学校点字体験含）への協力	7
5	シルバー大OB会 野木支部	各種福祉関係事業への参加協力・研修	36
6	野木ニューモラルクラブ	高齢者福祉施設での奉仕活動、交流、各種福祉関係事業への協力	10
7	五家英子とみんなで楽しく踊ろう会	福祉施設でのよさこい交流活動、町、各種福祉関係事業への参加協力	12
8	野木ひまわり		18
9	のぎコスモス YOSAKOI 桜		23
10	傾聴野木	高齢者施設や在宅ひとり暮らし高齢者の方への傾聴活動	14
11	のぎまちづくり ネットワーク	町民の皆様と一緒に協力し、協働のまちづくりを進める活動	8

(ボランティア団体以外の活動一覧)

No.	名 称	活動内容	会員数 (名)
1	配食ボランティア活動	社協事業「配食サービス」を支援し、ひとり暮らしの高齢者宅等に昼食のお弁当を届け、交流を図る活動	43
2	収集ボランティア活動	使用済資源（古切手、プリペイドカード、書き損じハガキなど）を収集整理して関係機関に送付し、発展途上国の福祉に役立つよう活動	3
3	施設でのボランティア活動	町内高齢者・障がい者福祉施設・介護施設などで趣味活動支援や話し相手などの活動をしながら交流を図る活動	
4	事業協力活動 HD体験学習支援活動	福祉事業への協力や町内小中学校やサマースクールでのハンディキャップ体験指導などで活動	12

・福祉講座

事業内容を見直すため、未実施。

・傾聴ボランティア養成講座

講師 栃木県傾聴ボランティア連絡協議会 会長 黒川 貢氏

開催日	内 容	受講者数(名)
10月3日	傾聴のスキル その1	12
10月17日	傾聴のスキル その2	15
10月31日	傾聴のスキル その3	12



③児童生徒の福祉教育活動推進

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校を「学童・生徒のボランティア活動普及事業」協力校に指定し、協働による福祉体験学習を推進した。また、次世代を担う学童・生徒に対し、福祉・ボランティア活動への理解や関心を深めていく取り組みとして、町内の各小中学校生徒を対象に、町内関係団体及び施設の協力のもと体験学習や交流活動をはじめとしたボランティア講座を開催した。

・協力校事業

協力(指定)校	野木中学校、野木第二中学校、友沼小学校、野木小学校、佐川野小学校、南赤塚小学校、新橋小学校 (全7校)
実施した主な活動内容	空き缶回収／一円募金／エコキャップ回収／車いす体験／学校行事の高齢者招待／文化祭等の福祉活動／高齢者・障がい者福祉施設体験／クリーン活動／ふれあい活動／点字・手話の学習／伝承あそび／その他

・協力校福祉体験講座への参加

ボランティア チャレンジスクール	友沼小学校	6名
	南赤塚小学校	7名
	新橋小学校	12名



・協力校事業連絡会議の開催(年3回)

開催日	内 容	出席者数(名)
6月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度事業計画について</li> <li>・野木町社会福祉協議会の福祉教育事業について</li> <li>・各学校における福祉教育の計画について</li> </ul>	10
11月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉新聞について</li> <li>・セミナー「赤い羽根共同募金と福祉教育」 講師：栃木県共同募金会 粕谷 亜紀 氏 上三川町社会福祉協議会 小野田 恵 氏</li> </ul>	15
1月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉新聞(校正)について</li> </ul>	11

・地域福祉新聞(小中学生版)の発刊(共同募金配分金事業)

各学校におけるボランティア活動や福祉教育の取り組み等について、地域福祉新聞を発行し、町内全世帯に配布した。

発行日	内 容
2月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各協力校で行われている福祉教育事業やボランティア活動</li> <li>・福祉教育に携わるボランティアサークルの方の感想</li> <li>・ボランティアチャレンジスクールの紹介</li> </ul>

・学校における福祉教育への支援活動

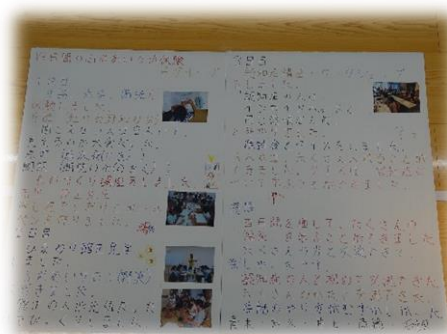
【協力】野木町社会福祉ボランティア連絡協議会

開催日	内 容	場 所
5月30日	ハンディキャップ体験学習支援(4年)	新橋小学校
6月27日	ハンディキャップ体験学習支援(4年)	友沼小学校
6月28日	ハンディキャップ体験学習支援(4年)	佐川野小学校
9月7日	点字体験学習支援	野木第二中学校
10月2日	手話・点字体験学習支援(4年)	南赤塚小学校
10月2日	手話・点字体験学習支援(4年)	友沼小学校
10月23日	朗読体験学習支援(4年)	野木小学校
10月28日	手話体験学習支援(4年)	野木小学校
11月11日	ハンディキャップ体験学習支援(4年)	野木小学校
11月20日	手話・点字体験学習支援(4年)	新橋小学校

・ボランティアチャレンジスクールの開催（町内在住小学4年～6年生）

【協力】手話サークル「虹の会」「野和の会」、朗読の会「のぎく」、点友会「のぎ」、  
仲山 孝子氏  
野木町健康福祉課、野木町総合サポートセンター、  
ふれあいサロン（潤島・丸林東・新橋東・松原・野渡）  
千葉県認知症疾患医療センター、ピアポート千壽苑  
竹とんぼの会、野木町社会福祉ボランティア連絡協議会委員

開催日	内 容	受講者数（名）
7月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉講座(手話・点字・朗読学習)</li> <li>・ふれあいサロン事前学習</li> <li>・ものづくり講座</li> </ul>	25
7月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野木町総合サポートセンター見学</li> <li>・ふれあいサロン交流体験</li> <li>・認知症サポーター養成講座</li> </ul>	25
7月24日	ピアポート千壽苑 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症講座、ワークショップ</li> <li>・デイサービス利用者と交流体験</li> </ul>	25
7月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4日間のまとめ、発表</li> <li>・竹細工講座（器・箸づくり）</li> <li>・流しそうめんとバーベキュー</li> </ul>	25



#### (4) 在宅福祉活動

##### ①福祉機材の貸出

歩行等が困難で車いすを必要とする方の日常生活の便宜を期するため、車いすを貸出した。

貸出件数（件）	H29 実績	H30 実績	R1 実績
	64	39	48

##### ②ふれあいサービス（住民参加型在宅福祉サービス）事業

高齢や障がい等により日常生活を営むことに支障のある方に対し、公的サービスでは補えないニーズについて住民相互の支え合いによる会員制の生活支援サービス事業を実施した。

	H30 実績	R1 実績
利用会員数（名）	38	43
協力会員数（名）	22	24
活動件数（件）	101	65

#### (5) 日常生活自立支援事業（愛称 あすてらす）

認知症高齢者、知的障がい者や精神障がい者などの判断能力が不十分な方に対し、福祉サービス・預金・日常の金銭管理を行い、地域で安心して自立した生活が送れるよう支援した。

##### 【実施したサービス内容】

福祉サービスの利用援助：福祉サービスの利用申込みや契約の代理・代行

日常的な金銭管理サービス：年金等受領、公共料金の支払い、預貯金の出し入れ代理・代行  
書類預かりサービス：預金通帳・印鑑・各種証書の預かり

【生活支援員数】 登録者9名（実サービス提供担当者5名）

	H29 実績	H30 実績	R1 実績
利用者実人数（名）	12	13	14
提供回数（回）	153	165	303

#### (6) 緊急食料等給付事業の実施

経済的に困窮し最低限の生活を維持することが困難な世帯に対して、食料等の支援を行い、生活困窮者の自立促進を進めた。

	H29 実績	H30 実績	R1 実績
件数（件）	9	4	5

## (7) 福祉団体活動支援・協力

団体名	主な事務・事業支援内容
野木町老人クラブ連合会	スポーツ、レクリエーション、教養活動、社会奉仕活動等を通しての健康づくりや生きがいづくりの場の推進を支援した。
野木町社会福祉ボランティア連絡協議会（団体・個人含）	活動者相互の交流や情報交換の場の提供やふくしのつどいなどの啓発事業の開催を通してボランティア活動推進の支援に努めた。
野木町赤十字奉仕団	災害時の炊き出し訓練、救急法の習得、高齢者等支援のための健康生活支援講習の普及など、地域における奉仕活動の推進を図る活動を支援した。

## (8) その他

行路援護者に対し、交通費の援助を行った。

	H29 実績	H30 実績	R1 実績
件数（件）	10	4	6

### ■共同募金配分金事業及び決算額

【1,634 千円[1,582 千円]】

## 1 事業の概要

赤い羽根共同募金からの配分金を活用し、社会福祉活動の理解と関心を高めるため、ふくしのつどいの開催や広報啓発活動（情報誌やホームページの活用）を推進し、活動の紹介や情報を提供した。

## 2 主要な施策

### (1) 広報・啓発活動

多年にわたり社会福祉事業の発展及び社会福祉協議会の運営に貢献、功績のあった方々に対する福祉功労表彰や福祉に対する理解と住民参加活動（ボランティア活動）の普及、情報交換、学習の場づくりを目的にふくしのつどいを開催した。また、社協情報誌『ぽけっと』・地域福祉新聞（小中学生版）の発行やホームページの維持管理など広報活動を行い、事業のPRとネットワークの構築を図った。



・ふくしのつどいの開催

開催日	内容	来場者数(名)	場所
12月14日	◎式典 (表彰者) ・民生委員児童委員及び主任児童委員 4名 ・社会福祉団体及び社会福祉施設等の役職員 2名 ・団体及び施設等 2団体 (感謝状) 1名、5団体 ◎講談 認知症予防講談 【講師】 講談師 神田 織音 氏	258	野木町文化会館 (野木エニスホール)

・社協情報誌『ぽけっと』…年4回(4月・6月・10月・1月)発行

号数	発行日	内容
121号	4月25日	2019年度事業計画・予算、2019年度ホープ館講座のお知らせ、地域福祉計画・地域福祉活動計画、赤十字月間のお知らせ、ボランティア養成講座のお知らせ、おれんじカフェのお知らせ、まちかどカフェすまいる、野木町民生委員児童委員協議会の活動の紹介、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、第1回ひとりぐらし高齢者の交流会のお知らせ、善意の寄付、職員募集について他
122号	6月20日	平成30年度事業・決算報告、ボランティア全体会・全体研修会の報告、おれんじカフェのお知らせ、傾聴講座の受講者募集、各ボランティア募集、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、ボランティアチャレンジスクール参加者募集、第1回ひとりぐらし高齢者の交流会のお知らせ、善意の寄付他
123号	10月24日	2019年度社協会員・日赤会員実績報告、老人クラブ表彰受賞者の紹介、ふれあいサービス協力会員募集、ボランティアチャレンジスクール実施報告、おれんじカフェのお知らせ、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
124号	1月23日	令和元年度赤い羽根共同募金実績報告、セミナー「赤い羽根共同募金と福祉教育」、ふくしのつどいのぎ2019実施報告、おれんじカフェのお知らせ、令和元年台風19号佐野市・足利市災害ボランティアセンター運営支援報告、教育支援資金貸付制度のご案内、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、第2回ひとりぐらし高齢者の交流会の案内、善意の寄付他

・地域福祉新聞…年1回(2月)発行

発行日	学校名等	記事内容
2月21日	友沼小学校	・アイマスク体験 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験 ・手話体験
	野木小学校	・手話体験 ・点字体験 ・朗読体験 ・盲導犬講話 ・ハンディキャップ体験 ・ひとにやさしいことって(まとめ)

	佐川野小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座</li> <li>・総合的な学習（車いす体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験）</li> <li>・佐川野っ子祭り 絵手紙作り、お手玉、テープ細工作り</li> </ul>
	南赤塚小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間（ハンディキャップ体験、手話体験、点字体験、ひまわり荘見学）</li> <li>・人権集会</li> <li>・ボランティアチャレンジスクール</li> </ul>
	新橋小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA 親子奉仕作業</li> <li>・生活科「昔のあそび」</li> <li>・感謝のつどい</li> <li>・総合「心のバリアフリー」「クラブ活動」</li> </ul>
	野木中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古紙・アルミ缶回収</li> <li>・ペットボトルキャップ回収</li> <li>・和太鼓講座</li> </ul>
	野木第二中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわり荘訪問</li> <li>・輝光祭台風 19 号義援金募金</li> <li>・輝光祭ハンディキャップ体験</li> <li>・輝光祭ひまわり荘接待</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話サークル「虹の会」、点友会「のぎ」、朗読の会「のぎく」</li> <li>・ボランティアチャレンジスクールの紹介</li> </ul>	

・ホームページ…年間公開

アクセス件数（件）	H29 実績	H30 実績	R1 実績
	2,378	2,303	3,491

(2) 高齢者の社会参加

町内在住 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に交流会（年 2 回）を開催し、当事者・民生委員児童委員・ボランティア等との互いの交流を通して孤独の緩和化を図るとともに生きがいづくりをすすめた。

開催日	場所	参加者数・内容等
9 月 4 日	日光田母沢御用邸記念公園	49 名、 協力（町民生委員児童委員 4 名）
2 月 27 日		新型コロナウイルス感染予防のため中止



### (3) 世代間交流事業

児童と地域の高齢者が季節行事やレクリエーションを通しての交流（年2回）を行った。

開催日	内容	参加者	場所
11月6日	高齢者・園児との お楽しみ交流事業	野木幼稚園児 老人クラブ会員 15名	野木幼稚園
1月29日	高齢者・園児との お楽しみ交流事業	野木幼稚園児 老人クラブ会員 19名	野木幼稚園

### (4) 児童・生徒の福祉教育活動支援助成

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校に支援・助成を行った。

## ■社会福祉基金事業及び決算額

【374千円[741千円]】

## 1 事業の概要

町民、事業所等からの寄付金を社会福祉の振興に充てるため「社会福祉基金」を設置し、積み立てた。

### ・善意の寄付受入について(基金指定)

預託内容	H29実績	H30実績	R1実績
寄付件数(件)	16	16	11
寄付金額(円)	717,444	735,828	368,246

## ■資金貸付事業及び決算額

【111千円 [198千円]】

### 1 事業の概要

低所得者及び生活困窮者に対し、必要な小口の資金の貸付を行い、家庭の経済的自立と生活意欲の向上を図り、安定した生活ができるよう支援した。また、貸付相談から見出された世帯の様々な生活課題等に対応すべく、各関係機関と連携し、支援を行った。

	H29実績	H30実績	R1実績
貸付件数（件）	60	47	9
償還件数（件）	83	48	23

資金の種類・貸付件数（件）	H29実績	H30実績	R1実績
生活一時資金	57	47	9
医療・介護一時資金	0	0	0
家屋修理一時資金	0	0	0
就学一時資金	0	0	0
その他の一時資金	3	0	0
合計	60	47	9

## ■生活福祉資金貸付事業及び決算額

【81千円 [86千円]】

### 1 事業の概要

栃木県社会福祉協議会より受託し、民生委員児童委員との連携のもと、低所得者世帯や障がい者世帯、高齢者世帯等を対象に資金の貸付事務や相談支援を行い、その世帯の経済的自立や生活意欲の助長促進を図った。

	H29実績	H30実績	R1実績
相談件数（件）	10	17	20

資金の種類・貸付件数（件）	H29実績	H30実績	R1実績
総合支援資金	0	0	0
福祉資金（福祉費）	0	0	0
福祉資金（緊急小口資金）	0	0	1
教育支援資金	0	0	1
臨時特例つなぎ資金	0	0	0
合計	0	0	0

## ■地域福祉ネットワーク事業及び決算額

【6,777千円 [9,574千円]】

### 1 事業の概要

地域におけるボランティア活動などの住民の福祉活動への支援や地域住民が相互に協力し、要援護者に対して支援を行うためのネットワークづくりなど多種多様な福祉ニーズに対しての支援を行った。

### 2 主要な施策

#### (1) ふれあい福祉総合相談

住民の日常生活の各種相談に応じるとともに、相談を通じて見出された課題に対して、ニーズに即したサービスの提供や関係機関との連携による対応を行い、適切な助言、援助等を行って地域住民の福祉の増進を図った。

相談種別	開設曜日・時間	相談員	相談内容
心配ごと相談	毎月第1水曜日 10:00-12:00	民生委員児童委員 保護司・人権擁護委員	日頃の悩みごとなど 日常生活に関する相談
法律（弁護士）相談	毎月第3木曜日 10:00-12:00	弁護士	財産・扶養・土地・金 銭貸借・賠償・離婚等 の問題に関する相談
介護相談	月～金曜日 8:30-5:15	介護関係職員	介護や介護保険（サー ビス）等に関する相談
ボランティア相談	月～金曜日 8:30-5:15	社協職員	ボランティア保険や社 会福祉支援活動等に関 する相談
生活資金・地域福祉 権利擁護相談	月～金曜日 8:30-5:15	社協職員	生活資金や日常金銭管 理に関する相談

【心配ごと相談】	H29 実績	H30 実績	R1 実績
開所回数（回）	21	23	12
来談件数（件）	4	8	5

【法律相談】	H29 実績	H30 実績	R1 実績
開所回数（回）	6	12	12
来談件数（件）	25	48	45

【介護・高齢者相談】	H29 実績	H30 実績	R1 実績
総合相談件数（件）	239	241	269

### ・相談員研修会の開催について

町心配ごと相談員研修会

開催日	内 容	参加者数(名)
1月31日	権利擁護における心配ごと相談員の役割	9

### ■外出支援サービス事業及び決算額

【326 千円 [264 千円]】

## 1 事業の概要

町内に居住し65歳以上で肢体不自由により車いすを常時使用している高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な方に、リフト付車両により居宅と社会福祉施設又は医療機関等の間の送迎を行った。

	H29 実績	H30 実績	R1 実績
利用者実人数（名）	15	17	14
移送回数（回）	75	64	94

### ■配食サービス事業及び決算額

【1,352 千円 [1,313 千円]】

## 1 事業の概要

町内に居住する65歳以上のひとり暮らしの者又は高齢者のみの世帯であって、老衰、心身の障がい又は疾病等の理由により調理が困難な方に対し、お弁当の宅配（毎月4回 金曜日）を行うことで、安否の確認と日常生活の身体的・精神的負担の軽減と健康維持を図った。

【配食方法】 配食ボランティアの協力により弁当を宅配、安否確認を行う。

【配食回数】 毎金曜日 月4回（昼食弁当）

【配食協力者（ボランティア）人数】 43名

	H29 実績	H30 実績	R1 実績
利用者実人数（名）	51	57	64
配食数（食）	1,814	1,812	1,815

## ■居宅介護支援事業及び決算額

【19,319千円 [23,298千円]】

### 1 事業の概要

介護保険制度における指定居宅介護支援事業所として、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくために要介護認定を受けた人のケアプランを作成した。また、町及び地域包括支援センターとの連携を密にし、信頼性の高い事業所を目指すとともに関係各所から総合的に提供されるよう連絡調整を図りながら、要介護者の自立した在宅生活を支援した。

【介護支援専門員数】 4名(内1名は訪問介護員を兼務)

居宅サービス計画 (ケアプラン) 作成	H29 実績	H30 実績	R1 実績
作成件数 (件)	1,019	1,075	1,137
要介護認定調査	H29 実績	H30 実績	R1 実績
調査件数 (件)	2	1	2

## ■居宅介護等事業及び決算額

【18,693千円 [22,604千円]】

### 1 事業の概要

指定訪問介護事業所として、在宅の要介護者に対し、ホームヘルパーを派遣し、入浴・排泄・食事等の介護や調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言等を行い、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、在宅生活を支援した。また、在宅の要支援者に対しては、本人の能力を生かし、自立度をあげる予防訪問介護を行った。

【訪問介護員数】 5名(内1名は介護支援専門員を兼務)

訪問介護サービス提供 (介護)	H29 実績	H30 実績	R1 実績
利用者実人数 (名)	21	18	8
提供回数 (回)	2,024	1,639	806
訪問介護サービス提供 (予防)	H29 実績	H30 実績	R1 実績
利用者実人数 (名)	15	11	12
提供回数 (回)	424	777	827
訪問介護サービス提供 (自費)	H29 実績	H30 実績	R1 実績
利用者実人数 (名)	3	4	2
提供回数 (回)	4	9	7

## ・生活支援事業（訪問介護）

介護保険制度における要介護認定で「自立」と認定され、町が生活援助サービスを必要と認めた方に対し、訪問介護員を派遣し、家事等の援助サービスを実施した。

	H29 実績	H30 実績	R1 実績
利用者実人数（名）	2	1	1
提供回数（回）	80	48	50

### ■障害福祉サービス事業及び決算額

【720 千円[615 千円]】

## 1 事業の概要

障害者総合支援法制度における居宅サービス事業所として、日常生活に支障のある障がい者が地域で自立して生活できるようホームヘルパーを派遣し、排泄・食事・入浴等の身体介護や掃除、洗濯、調理等の家事援助等を提供し日常生活を支援した。

	H29 実績	H30 実績	R1 実績
利用者実人数（名）	5	4	5
提供回数（回）	190	279	291

### ■指定管理事業及び決算額

【20,165 千円 [21,197 千円]】

## 1 事業の概要

指定管理者として、施設の目的や特性・業務内容・運営等を踏まえ、高齢者の福祉を増進する事業の展開とより効果的・効率的かつ施設の機能を最大限に発揮できる施設の管理運営に努めた。

## 2 主要な施策

### (1) 野木町老人福祉センターの管理運営

コミュニケーションを多くとることができ、楽しみを増やせる生きがいづくりの場として、高齢者の社会参加活動の促進を図った。また、施設整備や防災等安全確保に十分配慮し、利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めた。

	H29 実績	H30 実績	R1 実績
開所日数（日）	343	341	302
利用者総数（名）	29,222	27,142	24,290



## (2) 講座等の開催

町内に在住する60歳以上の方を対象に健康保持・増進と文化教養の向上を図るため各種事業を行った。

### ・生きがい講座（令和元年6月～令和元年12月）

講座名	開講回数（回）	受講者実人数（名）		
		男	女	計
初心者向け七宝焼講座	14	0	6	6
初心者向けパソコン	20	3	2	5
初心者向けフォークダンス講座	14	2	13	15
合計	48	5	21	26

### ・健康体操教室（令和元年6月～令和元年12月）

開講回数（回）	受講者実人数（名）		
	男	女	計
13	5	20	25

## (3) 老人ペタンク大会・老人レクリエーション大会の開催

スポーツ・レクリエーション等をとおして高齢者の健康増進と社会参加、互いの交流を図った。

開催日	内容	参加者人数(名)	場所
5月20日	ペタンク	86	丸林中央公園 グラウンド
9月25日	輪投げ グラウンドゴルフ 玉入れ	247	丸林中央公園 グラウンド



## (4) 老人福祉センター利用者数等別表による。（P29参照）

## ■地域包括支援センター事業及び決算額

【49,080 千円[47,208 千円]】

### 1 事業の概要

地域に住む高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活が続けられるよう総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメント等の実施や各関係機関との連携強化とネットワークにより、地域で見守る体制作りに努めた。

### 2 主要な施策

#### (1) 地域包括支援センターの運営

【専門職員数】 8名（本センター5名・サブセンター3名）

社会福祉士	2名
保健師・看護師	2名
主任介護支援専門員（介護支援専門員含）	4名

#### ①総合相談支援

地域に住む高齢者の様々な相談に対応し、適切な機関・制度・サービスに繋ぐなど継続的に支援する総合的な相談を行った。

	H29 実績	H30 実績	R1 実績
総合相談	239	241	269
認知症相談	39	35	40
権利擁護相談	14	20	14
虐待相談	11	8	13
介護認定申請等	79	47	131
福祉用具住宅改修理由書作成	22	41	37
関係機関への連絡・調整等	2,806	3,131	3,498
緊急通報装置		28	29
見守りキーホルダー		8	10
その他	31	53	48
件数（件）	3,241	3,612	4,089

#### ②権利擁護業務

高齢者の虐待防止、成年後見制度活用支援などの権利擁護業務を行ったほか、関係機関の研修に参加し、職員の資質向上を図った。

開催日	内容	場所
5月13日	市町行政職員権利擁護研修（第1回）	宇都宮市
5月28日	栃木県高齢者虐待対応初級研修	
5月29日	栃木県高齢者虐待対応初級研修	
6月24日	市町行政職員権利擁護研修（第2回）	

7月22日	法人後見事業推進連絡会議	
12月6日	高齢者権利擁護等推進事業事例報告会	

### ③包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し、包括的かつ継続的な福祉・介護サービスが提供されるよう地域のネットワークを構築し、社会資源を活用したケアマネジメントを行った。

### ④指定介護予防支援事業所の運営

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるように、介護予防サービス事業者等との連絡・調整を図りプランを作成した。

	H29 実績	H30 実績	R1 実績
作成件数 (件)	2,577	2,870	3,141

### ・介護支援専門員定例ケア会議の開催

開催日	内 容	参加者数 (名)
5月16日	講話会「災害時の高齢者支援について ～シミュレーションを通じて学ぶ～」 講師 ソーシャルワーク鹿沼 ソーシャルワーカー 川田 雅一 氏	34
8月22日	事例検討会「8050世帯のケースについて」 事例提供 たんぽぽ居宅介護支援事業所 他3事業所	18
11月21日	事例検討会「社会的孤立の対応ケースについて」 事例提供さわやか居宅介護支援センター 他2事業所	18
2月20日	情報交換会 「障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行について」 講師 町健康福祉課社会福祉係、ライフサポートゆめ 相談支援事業所みらい	17

### ⑤認知症施策の推進支援

町で実施する地域ケア会議、認知症初期集中支援チーム員会議に関係機関と連携しながら適切なサービス提供へ繋がるよう支援した。

認知症カフェ(おれんじカフェ)を毎月第三水曜日開催。専門職を講師として招き、勉強会や情報交換会を行った。

## (2) 介護予防・日常生活支援総合事業

### ① 野木町介護予防・日常生活支援総合事業の実施

高齢者を中心とした地域の支え合い(互助)への取り組みに向け、町及び関係機関との連携のもと、町における介護予防・日常生活支援総合事業で要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援をした。

## ■デマンド交通運営事業及び決算額

【15,666千円[17,775千円]】

### 1 事業の概要

公共施設、医療機関等への外出が容易にできない町民の交通手段を確保するため、利用者の要求に応じて運行する乗合タクシーの導入を図り、もって町民の交流促進、商業の活性化及び環境に配慮したまちづくりを推進した。

運行エリア（範囲）	野木町全域及び光南病院（小山市）、友愛記念病院（古河市） ※友愛記念病院へは、行きのみ
運行日	月曜日から金曜日 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は運休
運行便	午前8時～午後4時（30分おき運行）
運行台数	3台（セダン車2台、ワゴン車1台）
利用料金	1回（片道） 大人（中学生以上）300円、子供（小学生以下）200円 75歳以上 200円、3歳未満 無料
予約受付日・時間	月曜日から金曜日 午前8時から午後5時 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は除く

(1) デマンドタクシー利用者数等 別表による。（P30参照）

## ■日本赤十字社活動と共同募金活動

(1) 日本赤十字社栃木県支部野木町分区事務局

- ①日赤会員増強運動の実施（5月）
- ②被災世帯への救援物資の援助（寝具・日用品等）
- ③災害等による被災地への義援金等の受付
- ④日赤県支部事業（救急法講習会等）の実施及び受付事務
- ⑤被災地救援活動の実施・援助

・日赤会員増強運動の実施（5月）

会員内訳	件数（件）			金額（円）		
	H29実績	H30実績	R1実績	H29実績	H30実績	R1実績
会 員	8	5	7	16,000	10,000	14,000
協力会員 （寄 付）	6,750	6,715	6,679	3,218,868	3,217,905	3,192,661
合 計	6,758	6,720	6,686	3,234,868	3,227,905	3,206,661

・災害等による被災地への義援金等の受付

	件数（件）	金額（円）
東日本大震災義援金	3	105,000
令和元年度台風15号義援金	1	50,000
令和元年度台風19号義援金	6	29,083

(2) 栃木県共同募金会野木町支会事務局

①赤い羽根共同募金運動の実施（10月）

②災害等による被災地への義援金等の受付

・赤い羽根共同募金運動実績（運動月間10月）

募金種別	協力数			金額（円）		
	H29実績	H30実績	R1実績	H29実績	H30実績	R1実績
世帯募金	6,727世帯	6,655世帯	6,651世帯	2,640,561	2,620,826	2,622,516
街頭募金	1ヶ所	1ヶ所	0ヶ所	15,151	16,134	0
職域募金	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	4,315	7,083	6,407
法人募金	26社	23社	23社	136,000	116,000	108,153
設置募金箱	9ヶ所	8ヶ所	10ヶ所	36,882	3,914	6,164
個人募金		1件	0件		5,000	0
自販機募金		2台	2台		48,279	44,749
利 息				6	5	5
合 計				2,832,915	2,817,241	2,787,994

・災害義援金送金（ふくしのつどい）

	金額（円）
令和元年度台風15号災害義援金	19,400

■その他の支援活動（リサイクル関連）

- ①不要入れ歯等貴金属リサイクルの国際協力支援
- ②ペットボトルキャップの国際協力支援（ワクチン還元）
- ③使用済み切手収集の国際協力支援

2019年度 野木町老人福祉センター利用者数及び利用料収入状況報告書(平成31年4月～令和2年3月)

区分 月	開所日数 (日)	利用者総数 (人)	無料者数 (人)	有料者数 (人)	利用料金額 (円)	有料利用者の内訳(人)						1日平均 利用者数 (人)	利用団体数	
						町内者			町外者					
						一般	小中学生	内減免者数	一般	小中学生	内減免者数			
H31/4月	27	2,031	2,013	18	0	15		15	3			3	85	176
R元/5月	25	1,911	1,883	28	200	24		23	4			4	76	186
6月	30	2,751	2,725	26	400	23		21	3			3	91	221
7月	28	2,363	2,289	74	200	24	50	73					84	208
8月	29	1,996	1,934	62	0	44		44	18			18	68	188
9月	28	2,368	2,276	92	5,200	20	50	68	22			2+団体割240 円×20	84	219
10月	26	1,973	1,947	26	600	23		20	3			3	75	201
11月	27	2,158	2,130	28	400	27		25	1			1	79	213
12月	28	2,272	2,179	93	600	69	20	86	4			4	81	217
R2/1月	27	2,396	2,371	25	1,800	23		14	2			2	88	203
2月	26	2,019	1,986	33	1,200	31		25	2			2	77	212
3月	1	52	51	1	0	1		1					52	6
合 計	302	24,290	23,784	506	10,600	324	120	415	62	0	40		80	2,250

\* 上記有料者数には減免の為免除されている人数を含んでいません。

—野木町デマンド交通利用状況報告書—

1 登録者・利用者実人数(地区別・男女別)

区分	友沼	松原	新橋	野木	野渡	南赤塚	中谷	丸林東	丸林西	潤島	若林	佐川野	川田	プレシオン	町外	合計
登録者数	60	124	181	74	50	76	13	146	122	72	29	48	27	6	2	1,030
男	93	208	289	100	81	114	24	227	175	125	43	74	45	8	17	1,623
女	153	332	470	174	131	190	37	373	297	197	72	122	72	14	19	2,653
合計	20	53	76	33	26	32	4	61	44	20	16	19	11	4	1	420
利用者数	51	113	186	64	62	64	13	149	116	82	35	50	27	6	12	1,030
合計	71	166	262	97	88	96	17	210	160	102	51	69	38	10	13	1,450
利用率	33.3	42.7	42.0	44.6	52.0	42.1	30.8	41.8	36.1	27.8	55.2	39.6	40.7	66.7	70.6	40.8
男	54.8	54.3	64.4	64.0	76.5	56.1	54.2	65.6	66.3	65.6	81.4	67.6	60.0	75.0	70.6	63.5
女	46.4	50.0	55.7	55.7	67.2	50.5	45.9	56.3	53.9	51.8	70.8	56.6	52.8	71.4	68.4	54.7
合計																

運行日数	2,489	
利用者数	87,786	
平均/1日	35.3	
登録者数	2,653	
更新日: R2.3.18		(デマンド)
更新日: H30.3.30		(町)
登録者: 死亡者数		287
登録者: 転出者数		148
登録世帯数		1,727

2 月別利用者数・登録者数 (令和元年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
運行日数	20	19	20	22	17	19	19	21	20	20	19	21	236
利用者数	751	671	814	952	807	865	908	775	792	790	685	692	9,502
平均/1日	37.6	35.3	40.7	43.3	47.5	45.5	43.2	38.8	39.6	41.6	38.1	33.0	40.3
登録者数	13	19	12	19	17	6	25	17	10	19	15	5	177
シルバー・カー・持込者数	17	25	25	26	35	38	32	31	36	35	24	38	362
免許返納者数	2	4	2	10	4	5	9	4	5	6	8	4	63
無料券利用者数(200円)	12	5	40	16	13	10	20	25	30	30	10	21	232
無料券利用者数(300円)	9	8	8	13	13	19	9	23	35	25	17	5	174
利用世帯数													478

